

令和6年度

利用の手引

自然と生活と科学

～豊かな体験 高まる感性～



山形県神室少年自然の家

〈 も く じ 〉

1	施設の概要	1
2	利用について	1
3	経費	2
4	自然の家での生活	4
5	自然の家を有効に使っていただくために	7
6	プログラムの作成にあたって	8
7	日帰り・宿泊学習 プログラムの例	11
8	主な活動内容	12
9	研修活動用具一覧	17
10	野外活動エリア概略図	18
11	館内平面図	19
	(付)提出書類様式	20
	令和6年度 主催事業 年間計画表	26

所 章

将来に向かって希望と理想に燃え、健康で明るい少年たちと団結し、
躍進・努力する少年の家を表現。

中心部に「少」の文字を図案化した。

(デザイン 山形市 遠藤克也さん)

1. 施設 の 概 要

1 敷 地 174,075㎡ (サッカーコート約24.4倍)

2 主な野外活動施設

- ① ふじの木キャンプ場・・・50名程度利用可、屋根付き炊事場(たき火可、小テーブル10台)、蛇口8カ所、簡易水洗トイレ、営火場(キャンプファイヤー、たき火)、テント約8張設営可、雨天野外炊飯可、ドラム缶風呂体験可
- ② ならの木キャンプ場・・・100名程度利用可、炊事場(テーブル10台)、蛇口10カ所、簡易水洗トイレ、営火場(キャンプファイヤー、野外炊飯、たき火)、テント約30張設営可、ピザ窯(2つ、60人程度利用可)、炭焼き小屋、小雨野外炊飯可、ドラム缶風呂体験可
- ③ アカゲラの森キャンプ場・・・30名程度のソロビバーク体験(野宿)に対応、トイレはありません。
- ④ 水神沢コース・・・・・・自然の家から歩いて幻の滝を見に行けるコース(往復:1.5時間)
- ⑤ 三滝コース・・・・・・自然の家からバスで登山口まで移動、自然の家までのハイキング(3~4時間)
- ⑥ めんごハイキングコース・・・自然の家の敷地内を散策しながらのハイキング(1~1.5時間)
- ⑦ 川遊びAポイント・・・・・・(中学年~高学年向け)水深の深い所でダイビング、浅い所で生き物探し、ボディラフティング(ライフジャケットを着用で川流れ)
- ⑧ 川遊びBポイント・・・・・・(高学年向け)堰堤からダイビング、堰堤で集合写真、ボート体験
- ⑨ 川遊びCポイント・・・・・・(幼児・低学年向け)生き物探し、堰堤で集合写真、ボディラフティング、※A・Bポイントは、徒歩で移動可。Cポイントは、車移動またはバス申請必要。
- ⑩ スキー場・・・・・・春・夏・秋:散策、ネイチャーゲーム、テント設営等
冬:雪遊び(スノーチューブ、雪板、けつつぞり、動物の足跡探し等)

3 主な屋内施設 ※備え付けの冷房はありません。

- ① 宿泊室・・・・・・全室和室10室(ふすまで仕切った場合) ※「利用の手引」館内平面図を参照
定員200名、指導者室2室(1室5名)
- ② プレイルーム・・・・・・(じゅうたん敷き)入・退所式、レクリエーション、キャンドルサービス、映写会(100インチスクリーン)等に使用
- ③ 第1研修室・・・・・・60名程度の会議、雨天時のクラフト作り
- ④ 第2研修室・・・・・・30名程度の会議、雨天時のクラフト作り
- ⑤ 食堂・・・・・・96席(対面)
- ⑥ ピロティ1・2階・・・・各60名程度のソロビバーク体験(野宿)、テント泊、焼き板クラフト
- ⑦ バルコニー4カ所・・・・(宿泊棟)各10名程度のソロビバーク体験(野宿)、テント泊(2張)
- ⑧ 浴室・・・・・・オリオン20名程度(洗い場7)、ペガサス15名程度(洗い場5)
- ⑨ トイレ・・・・・・洋式トイレを増設しました。

2. 利用 について

1 利用できる団体

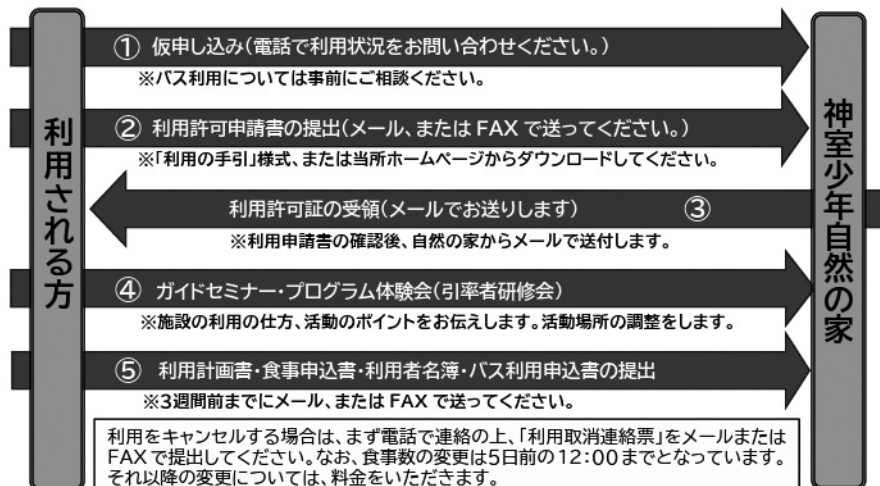
- 幼・保・小・中・高校・大学・学童クラブ・子ども会・研修会・部活動・家族など
- 利用目的が明確で、指定管理者「株式会社ひかり」が適当と認めた団体
※政治・宗教または営利目的とする場合や、過去に違法行為を行った団体が主催する講演等はお断りします。

2 利用できない日

- 休所日【第1・2・4・5月曜日、第3日曜日】、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
※ただし、ゴールデンウィークと海の日、スポーツの日の連休は利用できます。
※詳しくは、P26の年間計画表をご覧ください。

3 利用申し込みの手順

利用許可申請書、利用計画書、食事申込書、バス申込書等は、神室少年自然の家ホームページからもダウンロードできます。また、記入例も掲載していますので、参照してください。



3. 経 費

1 利用料金

宿 泊 利 用 (1人1泊につき)		本 人	左の区分のものに伴って利用する者	
			引率者・指導者	同伴者 (付添人)
青少年等	幼・小・中学生等	無 料	無 料	630円
	高 校 生 等	390円	630円	630円
	大 学 生 等	630円	630円	630円
	社 会 教 育 関 係 者	390円		
そ の 他 ・ 一 般		1,120円		

(部屋利用料) 1室1日の料金です

日 帰 り 利 用		本 人	左の区分のものに伴って利用する者	
			引率者・指導者	同伴者 (付添人)
青少年等	幼・小・中学生等	無 料	無 料	無 料
	高 校 生 等	無 料	無 料	無 料
	大 学 生 等	プレイルーム 1,330円 第一研修室 640円 和室(うめ) 640円 食堂 200円	第2研修室 200円	その他の和室 200円
	社 会 教 育 関 係 者			
そ の 他 ・ 一 般				

2 食事代

館内食

朝食(牛乳つき)	450円	昼食	580円	夕食	700円	手打ちうどん(昼食)	600円
----------	------	----	------	----	------	------------	------

野外炊飯等メニュー・価格

※市況により材料が変わることがあります。

		メニュー	飲み物	価格	材 料 ・ 副 菜 等
野 外 炊 飯	朝 食	ハムエッグ	牛乳	400円	米・ハム・卵・ふりかけ・デザート
		神室ドッグサンド			パン・マヨネーズ・ケチャップ・卵・粗挽きフランク
		炊き込みご飯	スープ	400円	米・炊き込み具・ツナ・野菜
	屋 食 ・ 夕 食	ポークカレー	緑茶A	580円	米・豚肉・野菜・カレールー・福神漬・デザート
		神室焼き肉定食			米・豚肉・野菜・マヨネーズ・調味料・デザート
		神室焼きそば			焼きそば・豚肉・野菜・デザート
		豚丼			米・豚肉・野菜・糸こんにゃく・紅しょうが・デザート
		神室ハンバーグ			米・合挽肉・卵・野菜・デザート
	屋 食	サラミピザ	紙パック	600円	強力粉・薄力粉・ピザソース・チーズ・サラミ・野菜
	お手軽 メニュー	お手軽中華丼 お手軽カレー丼	緑茶A	450円	米・レトルト(中華丼またはカレー)・デザート

		メニュー	飲み物	価格	材 料 ・ 副 菜 等
館内 体験	屋 食	手打ちうどん	なし	600円	中力粉・おかず(うどんは、厨房でゆでます)

	メニュー	飲み物	価格	材 料 ・ 副 菜 等
弁 当	携帯行動食	緑茶A	400円	パン・ソーセージ
	神室弁当(はし付き)		600円	ごはん・梅干・焼魚・揚物・ウインナー・卵焼き・漬物 など
	ハンバーグ弁当(はし付き)		700円	ごはん・ハンバーグ・サラダ など
	おにぎり弁当		500円	おにぎり2個・から揚げ・ゼリー
	めんご弁当	なし	250円	おにぎり1個・から揚げ・ゼリー

※追加おにぎり1個80円(おにぎり弁当、めんご弁当注文時に限ります。)

	メニュー	飲み物	価格	材 料 ・ 副 菜 等
季 節 メ ン ー	いも煮(野外炊飯)	緑茶A	700円	里芋・肉・ねぎ・こんにゃく・きのこ・調味料
	おしるこ	なし	120円	白玉・あずき ※野外食として、容器・スプーン付の場合は別途料金がかかります。
	玉こん		60円	
特別食(利用者の要望に応じて)			要相談	

	メニュー	価格		メニュー	価格
紙パック	牛乳	120円	500ml ペットボトル	スポーツ飲料	150円
	緑茶A			緑茶B	
	ウーロン茶A			ウーロン茶B	
	オレンジジュース			水	
	アップルジュース				

※箸が必要な場合、有料となります(1膳 5円)

※弁当を注文した場合、弁当のカラを入れるゴミ袋をご準備ください。

※野外炊飯では、薪代やガス代等、別途経費がかかります。

※館内食の大盛りを希望する場合は、追加料金がかかります。食事申請書を提出の際にご相談ください。

3 クリーニング代

(1) シーツ(本館泊)・・・・・・・・・・320円	(2) シュラフシート(野外泊)・・・・・・・・・・180円
----------------------------	--------------------------------

4 活動材料費

※「利用計画書 No.2」の「活動材料申込」の一覧表を参照してください。

4. 自然の家での生活

1 標準生活時間

合い言葉 来た時よりも美しく

	6:00	7:00	7:30		12:00		17:00	17:30	18:30		21:30	22:00
起		朝の集い	朝食		昼食		代表者打ち合わせ	夕食		活動		就寝
床				活動		活動				入浴時間 18:30～21:30		

2 入退所、代表者打ち合わせ

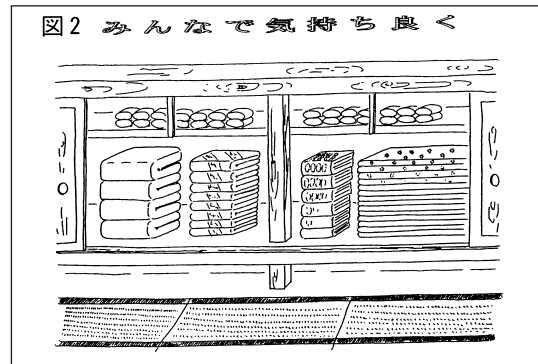
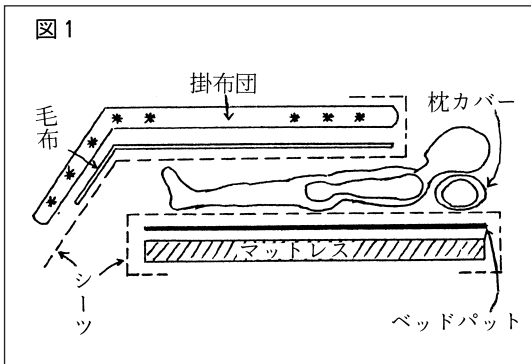
- (1) 到着後、代表者の方は事務室へお越しください。(利用人数と宿泊室、プログラム、支払い形態の確認)
- (2) 入退所時間は、原則として午前9時～午後5時までです。
- (3) 午後5時に事務室前で、宿泊利用の代表者打ち合わせを行います。(夜・翌朝の活動、食事・入浴時間 等)
- (4) 退所日の朝に、代表者または引率者、児童生徒、及び所職員の三者で宿泊室を見回り、忘れ物、清掃、寝具の整理・整頓等の確認をします。

3 出合いのつどい・別れのつどい

- 利用団体で企画し実施してください。自然の家所長、職員が参加します。
※校旗を掲揚するポールがあります。入所時に、ぜひ、掲揚してください。

4 就寝について

- (1) 「利用計画書No.2」に必要な枚数を記入し、事前に提出してください。館内泊の場合はシーツ一式(シーツ2枚、枕カバー1枚:320円)、野外泊の場合はシュラフシーツ(180円)が必要です。
- (2) シーツの貸し出しと返却について
【貸し出し】 宿泊棟2階リネン室(団体引率者が確認してください。)
【返 却】 宿泊棟1階リネン室(シーツ・カバーはたたまずに、黄色の袋に入れてください。)
・野外泊の場合も、宿泊棟2階からシュラフシーツを貸し出します。返却は、1階ピロティ、または宿泊棟1階リネン室の黄色の袋にたたまずに入れてください。
- (3) 布団の敷き方について



- (4) 枕は、そば殻入りですので、アレルギーの方は事前にご相談ください。
- (5) シーツやシュラフシーツ、枕カバー、布団、マットなどを汚した場合は、事務室にお知らせください。程度によってクリーニング代を請求させていただく場合があります。

5 館内食について

- (1) 「食事申込書」の事前提出について
○ 各食事の食数・入所日午後以降に必要な飲み物と数量を記入し、利用3週間前までに提出してください。
- (2) 食事時間
○ 朝食7:30～ 昼食12:00～ 夕食17:30～

- (3) 食堂の座席数は96席（対面方式）です。複数の団体が利用する場合は、時間差で食堂に入ってください。時間厳守をお願いします。
- (4) 食堂の利用の仕方
 - ① 宿泊棟の洗面所で手を洗ってから食堂を利用してください。
 - ② カウンターからセルフサービスで配膳・片付けをしてください。
 - ③ 団体の引率者は、最後に食堂内を点検し、忘れ物の有無を確認してください。
- (5) その他
 - ① 食物アレルギーがある場合、食事申込書を提出の際に記入してお知らせください。原則は除去食対応となります。その他気になることがあれば電話でご相談ください。食事担当者が対応します。
 - ② 飲食物等の持ち込みは、衛生管理上、原則禁止としています。

6 野外炊飯について

- (1) 「食事申込書」の事前提出について
 - メニュー名と食数、必要な飲み物を記入し、利用3週間前までに提出してください。館内食分と一緒に記入してください。
- (2) 野外炊飯用具について
 - ① たわし、スポンジ、洗剤、ゴミ袋（透明）、ふきん、まな板等は、持参するか自然の家で購入してください。たわし・スポンジについては、再利用品の無料レンタルもあります。
 - ② 野外炊飯のメニューに箸は付きません。野外炊飯用具にはスプーンが入っています。箸が必要な場合は持参するか自然の家で購入してください。（わりばし 1膳5円）
 - ③ 野外炊飯用具は6人セットで、食材も6人分で提供されます。野外炊飯グループは6人編成を原則とし、6人を超える場合は申し込み時にご相談ください。
 - ④ 野外炊飯庫から炊飯セットを借りるときは、指示された番号のコンテナを運んでください。
 - ⑤ 野外炊飯用の薪は1班で1束必要です。「利用計画書No.2」に記入してください。
 - ⑥ ピザ用の薪は10人単位で1束必要です。「利用計画書No.2」に記入してください。
 - ⑦ 衛生管理上、食材を持ち込んだの調理や食事は禁止しています。
- (3) 食材の受け渡しについて
 - ① 野外炊飯食材の受け取り時間
【朝食 6:30~6:45】 【昼食 10:00~10:15】 【夕食 15:00~15:15】
※当日、予定時刻より遅れる場合は事務室にご連絡ください。
 - ② 食材の受け取り場所は、1階ピロティ奥から階段を上がった厨房裏口「食材受け渡し場所」です。
 - ③ 厨房から受け取った食材を「持ち出し用カゴ」に入れ替えて、キャンプ場まで運んでください。調理後に、調味料（醤油・サラダ油・塩・コショウ等）が入った容器を「食材受け渡し場所」に返却してください。
- (4) 後片付け
 - ① 野外炊飯用具をきれいに洗い、水分をふきんで拭き取り、しっかり乾かすか、キッチンペーパーなどで水気をしっかり取ってください。食器の数を確認して自然の家職員の点検を受けてから、野外炊飯庫へ返却してください。（洗い残しや拭き残し、汚れがある場合は、洗い直しをしてもらいます。）
 - ② キャンプ場の水場の「残菜受け排水マス」を必ず掃除してください。
 - ③ 薪の燃えかす・キャンプファイヤーの燃えかす等は、完全に消火したことを確認し、残木置き場に運んでください。
 - ④ ゴミの分別について
 - ・生ゴミと燃やせるゴミ（トレー・弁当のから 等）⇒袋に入れてゴミ集積所の中へ
 - ・缶（缶詰め）⇒洗って袋に入れ、ゴミ集積所の裏へ
 - ・ペットボトル⇒袋に入れてゴミ集積所の裏へ※自然の家で受け取った食材と飲み物は、分別して捨ててください。
※ゴミ集積所で回収できるのは、自然の家で購入したものだけです。団体や個人が持ち込んだものから出たゴミは、すべてお持ち帰りください。

7 弁当について

- (1) 「食事申込書」に弁当メニュー名と食数、必要な飲み物を記入し、利用3週間前までに提出してください。メニューや受け取り時間については、事前にご相談させていただきます。（「食事申込書」には、館内食と弁当を併記していただきます。）

- (2) 休所日明けの昼食の弁当については、午前11時以降の受け取りとなります。
- (3) 弁当の受け取り場所は、1階ピロティ奥から階段を上った厨房裏口「食材受け渡し場所」です。
- (4) 弁当を注文した団体は、透明なゴミ袋を持参ください。食べ終えた弁当は、持参したゴミ袋に入れ、敷地内のゴミ集積所へお持ちください。透明なゴミ袋は、自然の家で購入することもできます（1枚20円）

8 清掃について

(1) 清掃場所と方法

- 宿泊室及び宿泊室前の廊下の掃除は、宿泊室または廊下に備え付けのほうきで掃き掃除をします。
- (2) 清掃時のゴミは、2階ピロティにある青いポリバケツに捨ててください。
 - (3) 団体や個人が持ち込んだものから出たゴミは、すべてお持ち帰りください。
 - (4) ボランティア活動として宿泊室以外の場所を掃除する際は、場所と掃除方法を自然の家職員にご相談ください。

9 入浴について（宿泊棟 1階）

- (1) 浴室・・・オリオン 20名（シャワー7個）、ペガサス 15名（シャワー5個）

- 利用団体の男女比により、浴室の場所が決まります。
- (2) 入浴時間・・・18:30～21:30（団体引率者を含む）
 - 複数の団体が利用する場合は、指定された時間内で入浴してください。
 - (3) 浴室にシャンプーやせっけんはありませんので、持参したものを使用してください。
 - (4) 団体の引率者は、最後に浴室内の椅子や洗面器の整理整頓、足ふきマットの片付け、忘れ物の有無を確認してください。
 - (5) 野外泊の場合は、湯冷め防止のため原則として入浴を遠慮していただきます。ただし、野外で2泊以上する場合は、シャワー使用の対応をさせていただきます。

10 支払い方法

利用最終日の翌日から1週間以内に指定する口座にお振込みください。振り込み手数料は、利用者負担となります。なお、利用日に現金での支払いも可能です。

11 自然の家からのお願い

- (1) 万が一の地震や火災等に備えて、非常口と避難経路を確かめておいてください。非常の場合には、自然の家職員の指示に従い、敏速に行動してください。
- (2) 常に健康観察に努めながら活動し、けが人や病人が出たときは必ず事務室に連絡してください。（午後10時以降は、宿直室へ連絡してください。）なお、万が一に備え、緊急用の車両をご準備ください。
- (3) 利用者玄関前は、子どもたちの活動場所です。車でお越しの際には、第1・第2駐車場をお使いください。
- (4) 敷地内は全面禁煙です。
- (5) 他の利用者の迷惑となる行為は厳に慎んでください。就寝後も含めて、利用する皆さんが気持ちよく生活できるようにしてください。
- (6) 寝具類を汚した場合は、職員まで申し出てください。程度によってクリーニング代を請求させていただく場合があります。
- (7) 貴重品の管理は、各団体で行ってください。
- (8) 利用者以外の方（保護者の方を含む）が来所する場合は、必ず人数を事務室へお知らせください。また、来所の際には事務室へ寄ってからお入りください。
- (9) 冬季間利用される方は、以下の点に気を付けてください。
 - ① 1階ピロティに出入りの際は、屋根からの落雪にご注意ください。
 - ② 自然の家までの上り坂両側に側溝がありますので、ご注意ください。また、雪で道幅が狭くなっているので、車やバスとすれ違う際にも、ご注意ください。

病院の電話番号

町立真室川病院 62-2251 62-2211 県立新庄病院 22-5525

5. 自然の家を有効に使っていただくために

～豊かな体験を通して学び、感性を育むためのプログラムづくり～

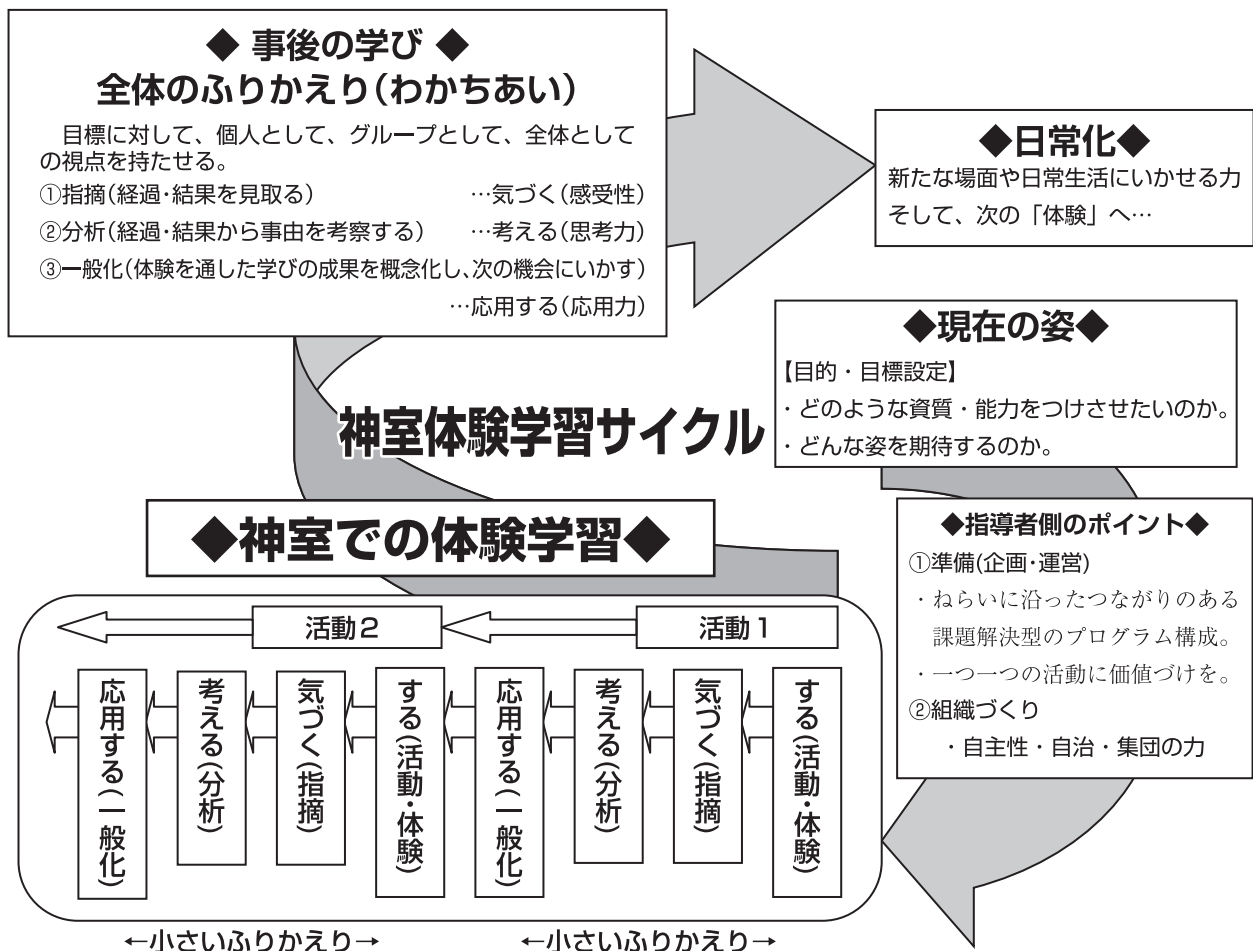
1 まず、目的・目標を明確にする ※「目的」→育てたい資質・能力 「目標」→具体的な姿

当所では、野外炊飯、テント泊、オリエンテーリング、クラフトなど、様々な自然体験活動を行うことができます。しかし、それらの活動は、体験を通じた学びのための「手段」であり「目的・目標」そのものではありません。計画する側の思いや願いをもとに、「何のために（目的・目標）どの活動（手段）を体験させたいのか」という考えを明確にしていくことが、貴重な時間をより効果的なものにつなげられます。

2 「体験学習法」の考え方を活かしてプログラムをつくる ※「神室体験学習サイクル」

目的・目標がはっきりしたら、プログラムをより効果的に運営するにはどうしたらよいかを考えます。当所では、様々な自然体験活動をプログラムに取り入れた「神室体験学習サイクル」を大切にしています。これは、体験を通して得た様々な「学び」を、「ふりかえり」を通して日常生活に生かし、次の体験につないでいく学びの循環サイクルを表したものです。また、このサイクルを通して、発達段階に応じた「グループの関わり」や「全体と個の関わり」など、学びの形態を工夫することで、個と集団の力を向上させることも期待できます。

企画・運営側が「指導」というスタンスだけでなく、「支援・協同」といったスタンスに意識を変え、目的・目標に沿って、参加者の学びをファシリテート（促進させる）ように関わることで、より学習効果は高まります。



3 充実した活動にするための当所の対応

- (1) ガイドセミナーでのねらいに沿った活動の提案やプログラムづくりの相談
- (2) 各体験活動の導入説明と支援、各種体験学習法の紹介や仲間づくり等の各エクササイズの支援
- (3) 教科学習との関連を図った活動の提案

6. プログラムの作成にあたって

1、宿泊研修のプログラムをこんなふうに決めていませんか？

- 「例年通りのプログラムで」 → 生徒・児童の実態に合ったプログラムですか？
「行けば分かるだろう」 → 安全確保や時間配分は大丈夫ですか？
「担当の先生に聞いてください」 → 引率者全員がプログラムについて共通理解することで、子どもたちが安心して活動に取り組めます。

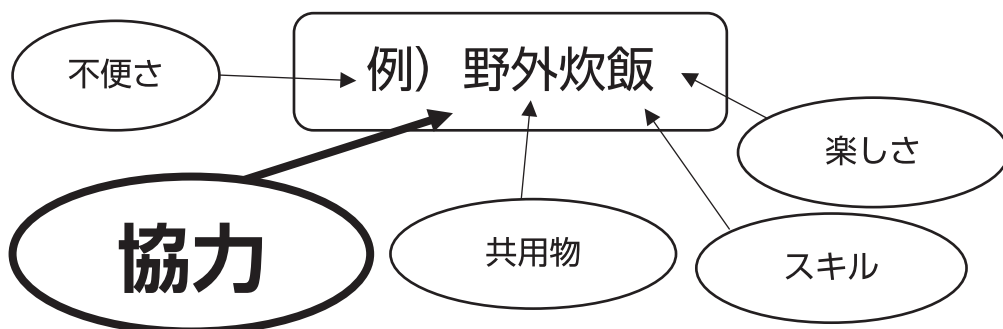
前回（去年）のプログラムが、今回（今年）の児童・生徒にマッチしているとは限りません！

2、[〇〇]のために[△△]をする。

〇〇=目的 △△=自然の家の活動

活動は、目的を達成するための手段、ツールです。

同じ活動でも、目的によってやり方が大きく変わります。



野外炊飯の場合・・・

- 例1) 「仲間との協力」を重視したい場合は、メニュー（カレーなど）の作り方をあらかじめ提示しておいて、進め方や役割分担を子どもたちに決めさせる時間を確保する。
- 例2) 不便さを実感させることで日常生活への感謝の気持ちを育むために「古代の火起こし」などと組み合わせて行う。
- 例3) 共用物を大切に使う気持ちを大切にしたい場合は、「使用後の食器点検を厳しく行う」ということをあらかじめ伝えてから野外炊飯に取り掛かる。他の活動時間を確保したいが、調理の楽しさも味わってほしい場合は、紙皿などの使い捨て食器を使用して、片付けに時間がかからない方法を考える。

この他にも、子どもたちの実態に即した「ねらい」によって、活動への導入の仕方や進め方が異なってきます。その点は、生徒・児童に毎日関わっている先生方にしか考えることができない部分です。

3、ふりかえりについて

活動を終えた後は、できるだけ「ふりかえり」を行うようにしましょう。はじめのうちは単なる感想発表で終わってしまうでしょうが、話し合いのポイントを伝えながら繰り返し行うことで、少しずつ中身のある「ふりかえり」ができるようになってきます。

また、個人でのふりかえり、グループ（班）でのふりかえり、全体でのふりかえりなどいろいろな形態がありますが、はじめは個人で紙に書かせるなどしてから、グループ内で発表するなど軽めの方法でやってみるといいでしょう。

- ① 体験したことに関する感想（これだけでは困りますが、これがないと始まりません）
- ② なぜそのようなことを感じたのか（何が「楽しかった／失敗だった」のか？なぜ「楽しかった／失敗した」のか？）
- ③ 自分の頑張り、友達の頑張り（グループのために自分ができたことや、友達がやっていたことなど）
- ④ 次の活動に向けて（どうしたらもっと良い活動ができるだろうか）

活動している児童・生徒の姿を思い浮かべながらプログラムを作成することが研修の成功につながります。

【主なプログラム一覧】

神室少年自然の家で主に実施される（採用する団体が多い）プログラムの一覧です。研修プログラムを作成する際の参考にしてください。これ以外のプログラムにおいても引率者・指導者が「ねらい」や「目的」を明確に持つておくことが大切です。「ねらい・身につけたい力」については例ですので、引率者の考えや子どもたちの実態に応じて設定可能です。

活動名	内容	ねらい・身につけたい力の例	活動時間(めやす)
三滝トレッキング	三滝地区から自然の家を目指して、山道を歩く。(約7km)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力、忍耐力向上 ・仲間との協力 ・達成感 ・自然に対する興味 	3～4時間
野外炊飯	様々な調理器具を用いて、自分たちの食事を作って食べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・炊飯活動の楽しさ ・仲間との協力 ・災害時に役立つスキル ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・共用の用具の取り扱い 	3時間
火起こし	鉈と薪を使って火を起こす。(野外炊飯などにつなげる、または同時進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に役立つスキル ・燃焼についての科学的な視点 ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・創意工夫、忍耐力 	1時間
古代の火起こし	木の摩擦を利用して火を起こす。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に役立つスキル ・燃焼についての科学的な視点 ・仲間との協力 ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・創意工夫、忍耐力 	2時間
テント泊	自分たちでテントを設営し、友達と一緒に一晩を過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との協力 ・友達の良さを実感 ・不便さを実感（日常生活への感謝） 	設営 2時間
ビバーク泊	限られた空間の中で、一人で夜を過ごす。	<ul style="list-style-type: none"> ・自立心 ・達成感 ・孤独の実感（仲間のありがたさ） 	設営 1時間30分
クラフト	自然の中のもの(木の実や小枝など)を装飾に用いて、自分だけのオリジナル作品を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫 ・思い出作り 	2時間
スコアオリエンテーリング	地図を手掛かりにして敷地内のポイントをめぐる、グループごとの得点を競う。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との協力 ・コミュニケーション ・自然に対する興味 	2時間
フリスビーゴルフ	フリスビーを用いてゴルフを行う。 ※個人戦と団体戦が選択可能	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間との競い合いまたは協力 ・コミュニケーション 	1時間30分
川遊び	川遊びを体験する。 ※A,B,Cのポイントがあり「泳ぎ」「ダイビング」「生き物探し」などの活動が可能	<ul style="list-style-type: none"> ・川で遊ぶ楽しさを知る ・水の流れや冷たさを実感 ・自然に対する興味（地形や生き物など） 	3時間

教育課程と結びつける例

宿泊研修の全日程を学校行事に割り当ててではなく、活動の1～2時間を学校の授業としてカウントするアイデアも。神室で体験したことを学校の授業の時に思い出して活用する場合と、授業で学んだことを神室の活動で生かしたり、確認したりする場合があります。

三滝トレッキング・・・体育、社会（地形図を用いたコース図を使って「地図読み」） 野外炊飯・・・家庭（調理実習） 火起こし・・・理科（燃焼） 川遊び・・・体育、理科（生き物、地形、石） フリスビーゴルフ・・・中学生数学（正負の数）
--

【プログラム検討シート】

自然の家で実施する体験活動プログラムは、目的達成のための手段です。活動しているときの子どもたちの表情や活動後の子どもたちの姿を想像しながら、どんな体験をさせたいのかを考えて自然の家での研修日程にプログラムを当てはめてみましょう。

下の項目のすべてが埋まらなくても大丈夫です。また、学校に戻ってから「神室での体験を応用しよう!」と思いつくこともあるかもしれません。

活動名	ねらい	
-----	-----	--

子どもたち（学年や学級）の現在の様子、課題点

活動を通じて学ばせたいこと

☆事前の準備（下見、用具、ミーティングなど）

☆安全管理に関して

前後のプログラムとのつながりや関連

当日の流れのイメージや、子どもたちに対する指導

学校に戻ってからの日常生活につなげられること、意識させたいこと

※自然の家で予定しているプログラムごとに作成しましょう。

7. 日帰り・宿泊学習 プログラムの例

神室少年自然の家では、青少年教育施設としての機能を有効に使っていただくために、P8～10の「プログラムの作成にあたって」をもとに、指導者の皆様がねらいを持ってプログラムを作成できるようにお手伝いしております。下記のプログラム例を参考に、利用者の実態に合わせてアレンジしてみたいはいかがでしょうか。

1 日帰りプログラムの例

【春・秋】 ～野山の散策～

入所 → 季節に応じた自然あそび（散策・木の遊具・ネイチャーゲーム）・秋焼き芋体験 →
 昼食（持参弁当・めんご弁当等） → 退所

【夏】 ～思いきり川遊び～

入所 → 川遊び → 昼食（弁当等） → 帰所（シャワー） → 退所

【冬】 ～雪山大ぼうけん～

入所 → 雪遊び（スノーチューブ、スノーハイク、けっつぞり、スノータワー、足あとさがしなど） →
 昼食 → 退所

2 1泊2日プログラムの例

1日目		2日目	
午前	入所ハイキング 入所式 昼食：弁当	午前	起床、洗面、シュラフ・テント干し 朝食：野外炊飯 シュラフ・テント撤収
午後	シュラフ・テント設営 夕食：野外炊飯		館内体験：手打ちうどん 昼食：手打ちうどん
夜	ボンファイヤー・星座観察 テント泊		食器点検・自由遊び 退所式

3 2泊3日プログラムの例

1日目		2日目		3日目	
午前	入所式 散策 シュラフ・テント作り	午前	起床、シュラフ干し 朝のつどい 朝食：お手軽野外炊飯	午前	起床、洗面 朝のつどい 朝食：野外炊飯
午後	昼食：弁当 川遊び	午後	三滝ハイキング 昼食：弁当		食器点検 シュラフ・テント撤収
夜	夕食：館内食 ナイトハイク 班長会、つどい テント泊	夜	三滝ハイキング 夕食：野外炊飯 入浴・班長会 キャンプファイヤー・つどい テント泊	午後	スコオリ・frisbee等 昼食：館内食 クラフト：フォトスタンド 片付け 退所式

4 部活動・スポーツ少年団での利用の例

共同生活を行いながら、チーム力の向上を図ります。真室川町内には総合運動公園もありますので、そちらの利用と組み合わせることもできます。

- ・ 吹奏楽部の演奏練習の場として。
- ・ 運動部の合宿の宿舎として。夜は、ミーティングやチームワークの確認のためのゲームなど。
- ・ 仲間づくり活動では、必要に応じて神室職員がファシリテーターをします。

8. 主な活動内容

○自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物

	活動名	活動内容	活動場所 (所要時間)	活動時期	準備等
自然観察的活動	自然観察	散策をしながら動植物を観察する。	敷地内	4～12月	○虫取り網 虫めがね ◆軍手
	星空観察	敷地内で四季折々の星や星座を観察する。双眼鏡も利用できる。	敷地内	通年	○双眼鏡
	地層観察	クジラの化石が発見された「割山」の地層を観察する。	水上山林道	5～11月	◆画用紙 筆記用具 等
登山	空蔵山登山 (標高1026m) 新庄市の東に位置している	登り約3時間で山小屋にたどりつける。更に1時間弱ほど登ると山頂に立てる。途中には沢が流れており、沢沿いで休憩もできる。	空蔵山（往復） ＜自然の家から登山口バスで片道50分＞ (5～6時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ◆水筒 雨具 食料 救急箱 等
水遊び	Aポイント (小学校中学年以上向け)	(堰堤の下流) ボディラフティング、岩棚から川への飛び込み、浅瀬での魚捕まえなど、様々な川遊びを体験する。	塩根川 ＜活動場所まで徒歩20分＞ (3時間)	6～9月	★下見・実地踏査 ○ライフジャケット 沢たび ヘルメット
	Bポイント (小学校高学年以上向け)	(堰堤付近) ボディラフティングやダイビングなどの川遊びをする。堰堤付近（堤防の上）でのボート乗りもできる。 (堰堤の上流) ゴムボートを協力して漕ぎ、川を遡る冒険が体験できる。また、遡った場所にある切り立った高さ3mの岩から豪快にダイビングしたりボディラフティングしたりする。	塩根川 ＜活動場所まで徒歩30分＞ (3時間)	6～9月	◆水着 水中メガネ (ゴーグル) タオル ストーンアートをする場合 ◆クレヨン 油性ペン 等
	Cポイント (幼児・小学校低学年向け)	川の流れに任せて遊んだり川の生き物を観察したりする。また、川原でストーンアート（川原の石に絵を描いたり色を塗ったりする活動）もできる。	小又川 (3時間) ＜活動場所までバスで15分＞	6～9月	たき火で暖をとる場合 ※薪 バス利用申請書の提出
	釣り	近くの川でポイントを探しながら魚を釣る。	自然の家周辺の川	6～10月	★下見・実地踏査 ○つりざお ◆えさ、しかけ

★は事前にコースの下見や実地踏査が必須になりますが、その他の活動についてもできる限り活動場所の下見等を行ってください。

- 自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物

雪遊	スノーチューブすべり	スキー場で手作りそりやスノーチューブを使ってすべる。	スキー場	1～3月	○スノーチューブ ◆防寒着、長靴 等
	スノーランタン作り (宿泊団体向け)	バケツを使って思い思いに雪の城などを作り、夜にろうそくに火をつけ、その輝きを楽しむ。	所周辺	1～3月	○バケツ ○スコップ、移植べら ◆防寒着、長靴 等 ◆※ろうそく
	スノーハイキング	雪の森や山の斜面、田んぼなどを歩いたり、無雪期には行けない場所も歩いたりする。動物の足跡探し、けつぞり等の活動と組み合わせることもできる。	敷地周辺	1～3月	★下見・実地踏査 ○スノーシュー 和かんじき ストック ◆防寒着、長靴 等
	アイスクリーム作り (要相談)	雪に塩を混ぜることで温度が下がる化学変化を利用してアイスクリームを作ります。	ピロティ (2時間)	1～3月	○クーラーボックス スコップ 等 ※材料、塩
ハイキング トレッキング	入所ハイキング	自然の家まで歩いて入所する。スタートは真室川駅や学校など、自由に設定できる。	<参考> 真室川駅～ 自然の家 6.5km (2時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等 トイレの確保が必要
	ロングハイキング	約20kmのアップダウンのある公道コースを歩く。途中に問題を置いて、ウォークラリーと組み合わせることもできる。	川舟沢・小又公民館周回コース 20km (8時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等 トイレの確保が必要
	三滝トレッキング	真室川町三滝地区をスタートし、季節に応じて移り変わる自然の様子を観察しながらアップダウンのある約7kmの山道を歩き、自然の家に戻る。	三滝コース7km (3～4時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ○熊鈴、ストック ◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等 バス利用申請書の提出
	めんごハイキング (幼児・小学校低学年向け)	様々なコースを通り展望台を目指す。季節に合わせた自然観察、ネイチャーゲーム等を組み合わせることもできる。	敷地内コース (1～1.5時間)	5～11月	◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等
	ナイトハイキング	夜に敷地内のコースを歩く。7月頃には、蛍が見えることもある。冬はスキー場周辺の幻想的な雰囲気森を散策できる。あえてライトを使わずに歩き、感覚を研ぎ澄ませたり、星空観察と組み合わせたりする工夫もできる。	ナイトハイキングコース (1～2時間)	通年	★下見・実地踏査 ◆懐中電灯 軍手 等 (状況により長靴) 冬：○スノーシュー 和かんじき
	スコアオリエンテーリング (小学生以上向け)	地図を手がかりに、敷地内に設けられたカードを制限時間内に数多く見つけ、グループごとの得点を競うゲーム。	敷地内 (1.5～2時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ○地図、バインダー 回答用紙 筆記用具
	ネイチャーゲーム	設定したテーマに沿って、自然物を生かした遊びをしながら野外を散策する。	敷地内 (1～1.5時間)	5～10月	○問題用紙 バインダー 筆記用具

- 自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物

野外 宿 泊	テント泊 ・家型テント（6人用） ・ドーム型テント（4・6人用）	キャンプ場に、グループで協力してテントを設営し、その中に寝る。 （60人以上の団体は家型テントでお願いしております。）	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 スキー場 わんぱく広場 （設営1.5時間 撤収1時間）	5～10月	○テント ペグセット マット シュラフ シュラフシート （有料） ◆軍手 懐中電灯 虫よけ 等
	ソロビバーク体験（野宿）	個人ごとに作ったシュラフをブルーシートで包み、その中に入って寝る。 野外の暗闇や星空の下で眠る体験ができる。雨天時はピロティでのビバークも可能。	各キャンプ場 （設営1時間 撤収30分）	6～9月	○ブルーシート マット ロープ シュラフ シュラフシート （有料） ◆軍手 懐中電灯 虫よけ 等
炊 飯 活 動	野外炊飯（班単位）	薪やガスコンロを使い、グループで協力しながら食事を作り、楽しく食べる。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 （3～4時間）	5～10月	○野外炊飯セット ◆エプロン・三角巾 ごみ袋・軍手 新聞紙・マッチ クーラーボックス等 ◆※洗剤、クレンザー ごみ袋、まな板、箸 （薪を使わず、ガスコンロで行うこともできます。ガスカートリッジ有料） ※薪
	ソロ炊飯 ※1人1セットの道具を使うため、団体の人数によって要相談。	一人一人が自分で火をたき、ラップの中で湯煎をして米を炊いたり、レトルト食品を温めたりして食べる。 一人での活動（羽釜のすすを落とすなど全ての作業）になるため時間を要する。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 （3～4時間）	5～10月	
	石窯ピザ作り体験	自分たちで生地を作り、石窯でピザを焼いて食べる。 （60名程度の団体までは対応可能）	ならの木キャンプ場	5～10月	○野外炊飯セット ガスコンロ ◆エプロン・三角巾 軍手 新聞紙・マッチ クーラーボックス ◆※洗剤、クレンザー ごみ袋、まな板、箸 ガスカートリッジ 発酵用の袋 ※薪
	手打ちうどん体験 （館内調理）	粉を練ったり、のし棒で広げたり、包丁で切ったりしてうどんを作る。 （厨房職員が茹でておかずとともに提供する）	館内 （2～3時間）	通年	○手打ちうどんセット ◆エプロン・三角巾

○自然の家で貸し出し可能な物

◆利用者（団体・個人）で準備する物

※自然の家で購入する物

野外 チャ レン ジ 活 動	フリスビーゴルフ ※新聞紙フリスビーゴルフ は館内でも可	フリスビーを利用したゴルフ で、ゴールのたらいに何回で 入るか競う。個人戦、チーム 戦等ができる。（9番ホール まで）	フリスビー ゴルフコース （1～2時間）	4～11月	○フリスビー 記録用紙 バインダー 筆記用具
	木こり体験（要相談） 丸太切り体験	森林学習の一環として、コナ ラを中心とした二次林の密生 している所を間伐する。立ち 木をのこぎりで倒し、1mぐ らいの長さで切って運ぶ。切 った丸太は、クラフト等に使 うこともできる。	敷地内 （2～3時間）	4～11月	○のこぎり ヘルメット ◆軍手 タオル 長靴 等
	火おこし体験	火おこし器を使い、木の摩擦 によって火をおこす。火をお こすことの大変さや、火のあ りがたみを体験したり、おこ した火を次の活動に使ったり することもできる。	ピロティ キャンプ場 等 （1～2時間）	4～11月	○火おこしセット （※火床は有料） ◆軍手
	神室チャレンジ ちよこっと遊び	手作りの遊び道具や自然の 木々などを利用して、自然に 親しみながら遊ぶ。	敷地内各所	通年	○（全て貸し出し可、 または常設） エクスロープ 丸太わり ホースシュー ドラゴンブリッジ 等
館内 チャ レン ジ 活 動	フォトビンゴ 2024	ヒントの写真カードを手がかり にして館内を回る。写真と 同じ場所に隠されたマークを 見つけ、カードのビンゴを完 成させる。	館内全体 （1～2時間）	通年	○解答用紙 バインダー 筆記用具
	館内スコアオリエンテーリング	館内図に貼られたマークを手 がかりに、その場所を探し出 しカードに書かれたクイズに 答えたり、ひみつのワードを 見つけたりして得点を競う。	館内全体 （1～2時間）	通年	○解答用紙 バインダー 筆記用具
	ウォールクライミング	プレイルームわきの壁面に設 置されたホールドを利用して 壁をよじのぼる。 （上方向に登るクライミング、 横方向に渡るトラバースの2 種類の遊び方ができる）	クライミング ウォール （プレイルーム脇）	通年	★事前に安全指導を受 けること ○安全マット
	チャレンジランキング	ペットボトルダーツ、スリッ パシュート、豆つかみ等のゲ ームに挑戦する。個人タイト ル戦、班ごとの団体戦などの 遊び方ができる。	プレイルーム	通年	○チャレンジ ランキンググッズ
	神室ドミノ 2024	2024個の木製ドミノ（サイ ズは約7×5cm）を、自分た ちでデザインを考えて並べる。	プレイルーム	通年	○ドミノ

○自然の家で貸し出し可能な物

◆利用者（団体・個人）で準備する物

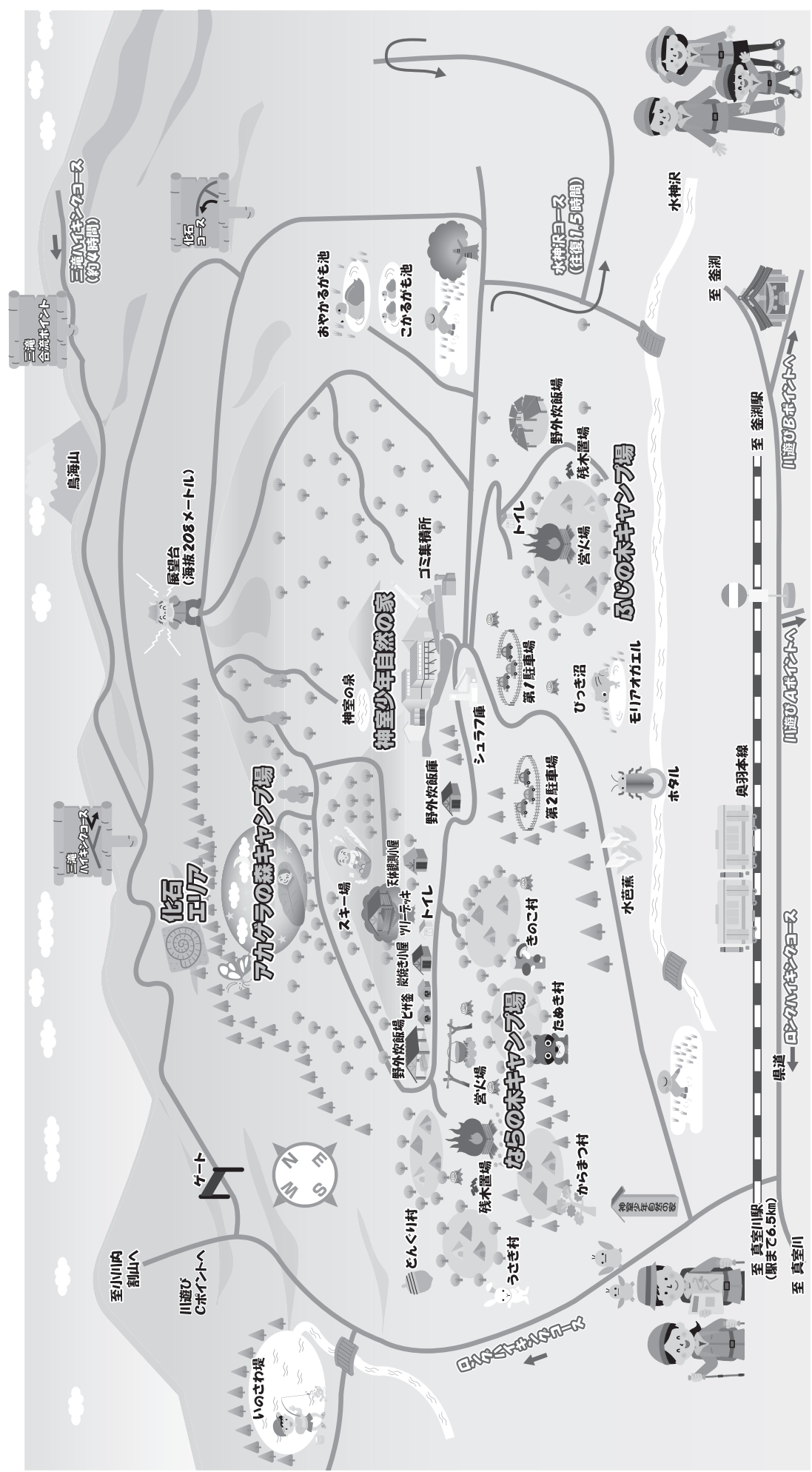
※自然の家で購入する物

クラフト活動	ウォールプレート(焼き板)	ガスバーナーを使って杉板の裏表をムラなく焼き焦がし、ブラシや布で磨いて、オリジナルの飾りを付ける。	ピロティ (2時間)	通年	※材料(杉板、バーナー、チェーン、ヒートン、ボンド) ◆軍手
	ひもパズル(焼き板)	焼いた杉板3カ所に穴をあけ、「木の輪切り」を2個と、ひもを使い、輪を移動させて遊ぶパズルを作る。	ピロティ (2時間)	通年	※材料(杉板、バーナー、ひも) ◆軍手
	フォトスタンド(焼き板)	焼いた杉板に、木の実や小枝などで飾り付けをして、L版の写真が貼れるスタンドを作る。	ピロティ (2時間)	通年	※材料(杉板、バーナー、コルクシート、ボンド) ◆軍手
	木の輪かざりペンダント	コナラ等の「木の輪切り」に草花や木の実をつけ、オリジナルのペンダントを作る。	ピロティ (1時間)	通年	※材料(木の輪、ひも、ボンド)
	木の輪クラフト	木の輪を土台にし、木の実や枝などを飾ったりしながらオブジェ風作品を作る。	館内 (1～2時間)	通年	※材料 (木の輪、ボンド)
	神室こけし	コナラやサクラの木に顔を書き、模様を付けてミニこけしを作る。	館内(30分)	通年	※材料(桜の枝、小刀)
	プラトンボ	プラスチック板を羽の形に切り取り、羽を曲げて、くしをさす。手で回転させて飛ばす。	館内(1時間)	通年	※材料(プラ版、ボンド、竹串)
交流活動	キャンプファイヤー	燃え上がる大きな炎を囲む。活動のふりかえりやグループの発表と組み合わせることもできる。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (1～2時間)	5～10月	※薪 (キャンプファイヤー用)
	ボンファイヤー (たき火体験)	グループや個人ごとに薪を組み、たき火をする。ふりかえりやグループの発表と組み合わせることもできる。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (1～2時間)	5～10月	※薪 (野外炊飯用と同等)
	キャンドルサービス	館内で、たくさんのろうそくの火を灯す。ふりかえりやグループの発表と組み合わせることもできる。	プレイルーム 研修室 (1～2時間)	通年	○燭台 ※ろうそく
	仲間づくり活動	グループやクラス単位で、様々なアクティビティを通して人との関わりについて考えたり、自分自身のことについて考えたりして、日常生活へ生かすきっかけを作る。	プレイルーム わんぱく広場など	通年	○各種ゲームグッズ (持参も可)

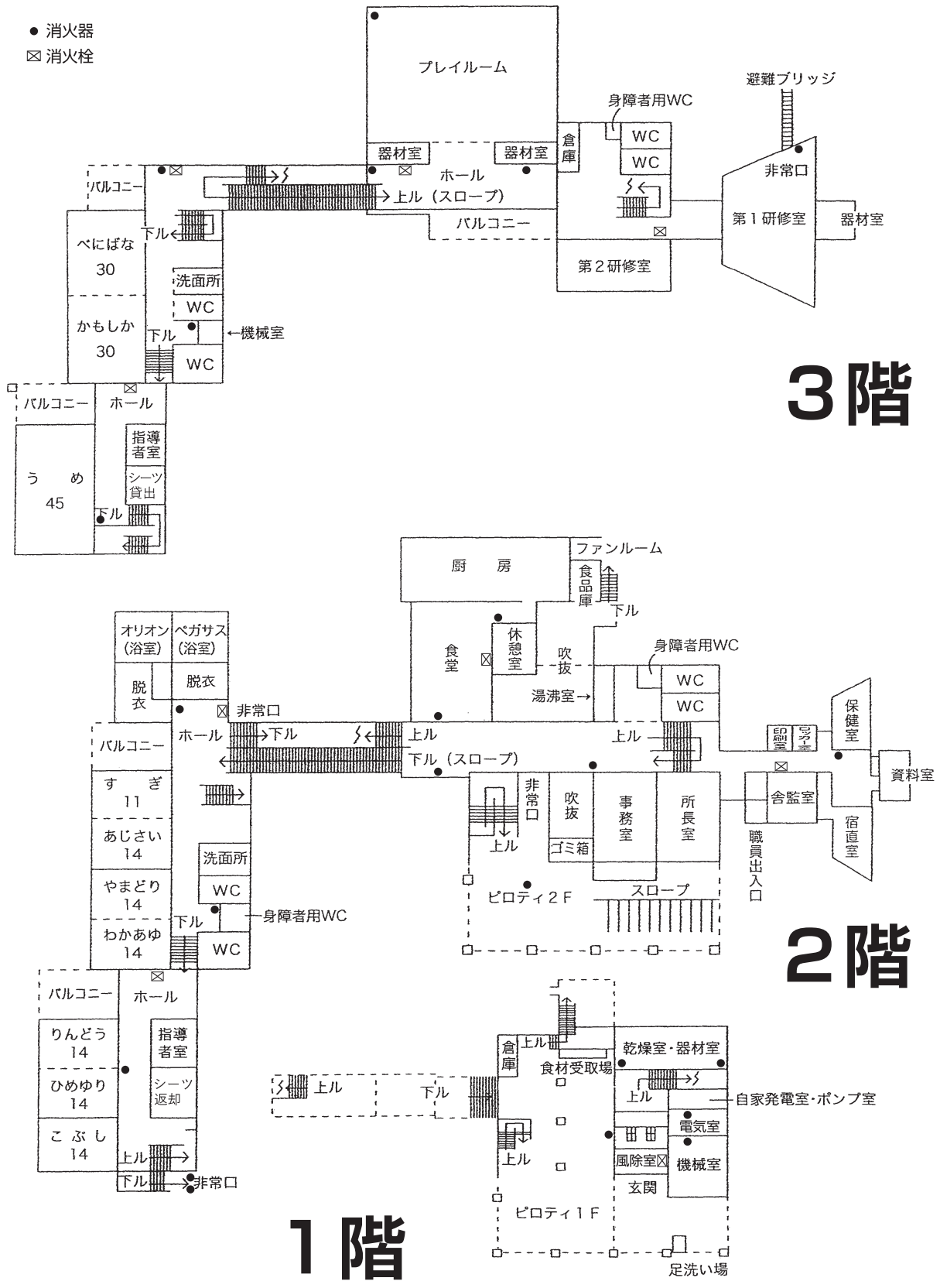
9. 研修活動用具一覧

区分	活動用具名	数量	区分	活動用具名	数量
野外活動用具	家型テント（6人用）	20	クラフト用具	なた（内 左用7本）	26
	ドームテント（6人用）	28		のこぎり	32
	ドームテント（4人用）	10		小刀（内 左用19本）	63
	春・夏・秋用シュラフ	146		ペンチ	25
	冬用シュラフ	65		きり	80
	テント用グランドマット	36		ガスバーナー	13
	断熱マット	60		ハンドドリル 太	31
	ビバーク用ブルーシート	112		ハンドドリル 細	10
	LEDランタン（単1電池4本持参）	16		はさみ	110
	LEDランタン（単2電池4本持参）	4		グルーガン	50
	野外炊飯用具（6人用）	21	室内活動・文化活動・視聴覚機器	中央燭台	1
	かまど（ペール缶）	70		燭台	150
	鉄鍋	15		手打ちうどん作りセット	33
	スノーチューブ	15		会議用机	33
	かんじき	80		パイプいす	80
	スノーシュー	55		丸いす	100
	フリスビー	32		座卓	14
	ゴムボート	8		移動黒板	4
	釣りざお短（川・沼）3.6m	50		ハンドマイク	1
	釣りざお長（川・沼）5.4m	14		電子ピアノ	1
	ライフジャケット 大	30		スクリーン	2
	ライフジャケット 中	70		ラジカセ	2
	ライフジャケット 小	20		ストップウォッチ	3
	ヘルメット	60		プロジェクター	1
	溪流たび	166		チャレンジランキング用具	1
	17cm：10足 18cm：10足			昔の遊び用具	
	19cm：10足 20cm：10足			・ビー玉 ・お手玉	
	21cm：10足		・けん玉 ・こま		
23cm：21足 24cm：32足		・べいごま ・おはじき			
25cm：32足 26cm：16足		・めんこ			
27cm：10足 28cm：5足					

10. 野外活動エリア概略図



11. 館内平面図



(様式 第1号-④) **令和6年度 山形県神室少年自然の家 利用許可申請書**

令和 年 月 日

神室少年自然の家
指定管理者 株式会社ひかり 殿

【申請者】
住 所 (所在地)
団 体 名
職・氏名 (代表者名)

下記のとおり利用したいので申請します。

学校・利用団体名称										() 年
利用目的(研修内容)										
引率代表者 氏 名 及び連絡先	引率代表者	役職名								氏名
	連 絡 先 日中連絡のつく所 (携帯電話)	住 所 〒 -		電 話 : - - F a x : - -						
利 用 期 間	第1希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()						到 着 時 刻	午前 :	
	第2希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()							午後 :	
	第3希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()						退 所 時 刻	午前 :	
利用施設 (室名、場所及び利用希望時間など)										
利用者区分	幼 児	小学生	中学生	高校生	大学生	引率者 指導者	その他 一 般	計	社会教育 関 係 者	
人 員	男								1 該 当 2 非該当	
	女									
	計									
主 な 活 動 内 容										
月/日 (曜日)	朝食	午 前	昼食	午 後	夕食	夜	宿泊区分	※宿泊区分に下記の事項で 該当するものを記入して ください。 本 館 泊 ・ テント泊 ビバーク泊 ・ そ の 他 ※左記の計画覧の該当する 食事に○をつけてくださ い。 持参弁当：持参 館内給食：館内 野外炊飯：野外 提供弁当：弁当		
第1日 ()	/		持 参 館 内 野 外 弁 当		館 内 野 外 弁 当					
第2日 ()	館 内 野 外		館 内 野 外 弁 当		館 内 野 外 弁 当					
第3日 ()	館 内 野 外		館 内 野 外 弁 当		/	/	/			
誓約 事項	<input type="checkbox"/> 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利用する使用でないことを誓約します。（誓約事項について誓約する場合は、□にレ印を記入してください。）									

(注) 1 年間、複数回利用する場合は、1回ごとに利用許可申請書を提出してください。
2 誓約事項について確認するため、山形県警察本部長に申請者の住所、氏名その他の申請書に記載されている情報を提供して、その意見を聴くことがあります。この場合において、必要がある場合は、申請者の生年月日等の個人情報を確認することがあります。

(備考) 特に希望する事項（活動内容・所バスの利用）等があれば、空欄に記入してください。

団体名 ()年 引率責任者氏名

住所 〒 (-)

連絡先 電話 FAX
 携帯電話 ※必要があれば 誰の【 】番号【 】

1. 活動のねらい

2. 利用期間 月 日 () ~ 月 日 () 【泊 日】
 到着時刻 (:) 退所時刻 (:)

3. 利用人数

区分	乳 幼 児			小 学 生						中学	高校	大学	社会教育 関 係 者	その他 一 般	引率者 指 導 者	同伴者 付 添 人	合計
	年少以下	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年								
男																	
女																	
計																	

上記の人数の内宿泊人数【 】人

(○で囲む)

4. 交通手段 自然の家のバスを 申込済み 利用しない ※バスを利用する場合は申込書が必要。
 自然の家のバスを利用しない場合の交通手段 (行)【 】→自然の家 (帰)自然の家→【 】

5. 料金支払いについて (該当するものに○印)
 支払い方法 () 退所時に現金で支払う () 後日 銀行に振り込む
 領収書形態 () 利用者全員一緒 () 指導者と利用者別々

6. 活動プログラム

時刻	月 日 ()				月 日 ()				月 日 ()				時刻
	活動内容	場所	依頼	雨天時	活動内容	場所	依頼	雨天時	活動内容	場所	依頼	雨天時	
6:00													6:00
7:00													7:00
8:00													8:00
9:00													9:00
10:00													10:00
11:00													11:00
12:00													12:00
13:00													13:00
14:00													14:00
15:00													15:00
16:00													16:00
17:00													17:00
18:00													18:00
19:00													19:00
20:00													20:00
21:00													21:00
22:00													22:00
宿泊に○を	館内	テント	ソロビパーク		館内	テント	ソロビパーク		館内	テント	ソロビパーク		宿泊に○を

活動プログラム記入上の留意点

- 館内での食事は朝食が7:30 昼食が12:00 夕食が17:30となります。
- 各活動について導入説明を依頼する場合は、「依頼」の欄に○をつけてください。(17:15以降の依頼はお受けできません。)

利用団体名 ()

7. 宿泊用具の使用数

用具	必要数	料金	備考
6人用家型テント	張	なし	テント1張につき、ポール①・グランドシート①・銀マット②・ペグ1缶がつかます。
4人用ドームテント	張	なし	テント1張につき、グランドシート①・銀マット②がつかます。
6人用ドームテント	張	なし	テント1張につき、ポール①・グランドシート①・銀マット②がつかます。
野宿用ビバークシート	枚	なし	ビバークシート1枚につき、ミニグランドシート①・PPロープ①・小石①がつかます。
シュラフ・シュラフシート	人分	180円	シュラフ1枚・シュラフ用シート1枚のセットで1人分です。
館内泊用シート	人分	320円	館内泊用シート2枚・枕カバー1枚で1人分です。

8. 野外炊飯用具の使用数

用具	必要数	料金	備考
野外炊飯用具一式	セット	なし	1班で6人用
野外炊飯用薪	束	400円	1班1回の野外炊飯につき、1束基準
ふきん	枚	50円	持参でも可能
クレンザー	本	110円	持参でも可能
台所用洗剤	本	150円	持参でも可能
ごみ袋	枚	20円	透明なゴミ袋であれば、持参OK。
ガスカートリッジ	本	140円	①ガスコンロでの調理(班で1本)②ピザ作りで気温が低い時に、発酵用の湯を沸かす(全体で1~2本)
まな板	枚	130円	1班で2枚程度必要
ピザ・フォカッチャ用薪	束	400円	10人単位で1束程度

9. 活動材料申込

	物 品	注文数	料金	物 品	注文数	料金	物 品	注文数	料金
ク ロ フ ト セ ッ ト	ウォールプレートセット (杉板(約18cm×28cm) チェーン、ヒートン(2個) グレーガン、ボンド)	雨	350円	フォトスタンドセット (杉板(約14cm×18cm) コルクシート、 グレーガン、ボンド)	雨	250円	ひもパズルセット (杉板(約6cm×28cm) ひも)	雨	200円
	プラトンボセット (プラ板、竹串、ボンド)	雨	40円	木の輪ペンダントセット (木の輪、ひも、ヒートン、 グレーガン)	雨	40円			
ク ロ フ ト 部 品	杉板(約18cm×28cm)		250円	木の輪		20円	ひも		20円
	杉板(約14cm×18cm)		180円	ヒートン(1個)		10円	桜の枝 (約10cm×φ2cm) ※神室こけし など		30円
	杉板(約6cm×28cm)		120円	チェーン		60円	コルクシート (約12cm×16cm) ※フォトスタンド用		40円
	グレーガン用スティック(1本)		30円						
そ の 他	キャンプファイヤー用薪 (灯油付き)		3,000円	ボンファイヤー用薪		400円	ブナ炭		1,200円
	火おこし用火床A (紐切り式用手作り火床)		200円	火おこし用火床B (舞切り式用火床)		825円			
	ローソク大40本		380円	ローソク小40本		380円			

※ 雨天プログラムで使用する場合は、注文数の欄の雨を○で囲んでください。

10. ご希望や配慮すべきことがありましたらご記入ください。

山形県神室少年自然の家 バス利用申込書

年 月 日

株式会社 ひかり 殿

利用団体

代表者氏名

印

山形県神室少年自然の家利用にあたり、下記のとおりバス利用を申し込みます。

記

1. 利用目的	
2. 利用期日 および 利用経路	年 場所 _____ → 場所 _____ 月 日() 時刻 : _____ 時刻 : _____
	年 場所 _____ → 場所 _____ 月 日() 時刻 : _____ 時刻 : _____
	年 場所 _____ → 場所 _____ 月 日() 時刻 : _____ 時刻 : _____
	年 場所 _____ → 場所 _____ 月 日() 時刻 : _____ 時刻 : _____
3. 利用人数	・幼児・児童・生徒 _____ 名 ・成人・引率指導者 _____ 名 計 _____ 名 ※定員45名(座席37名+補助席8名)
4. 同乗する 責任者氏名	※複数可
5. その他	

※自然の家バスを利用する場合も、緊急車両を1台必ず準備してください。

※バス利用申し込み前に、各市町村のスクールバスの利用が可能かどうかをご確認ください。

※バスの運行できる時間は、8:30~17:00となっています。

FAX 0233-62-2613

または

メール info@kamuro-nature.jp

山形県神室少年自然の家 利用取消連絡票

年 月 日

株式会社 ひかり 殿

団体名

代表者名

担当者名

住 所

電話番号

予約期間

年 月 日 () ~ 年 月 日 ()

予定人数

人

下記の理由により、貴施設の利用を取消します。(当てはまる項目をチェックしてください。)

- インフルエンザ等の流行性感冒の影響
- 別の行事と重なっていたため (参加者の都合)
- 天候の影響 (台風・大雪等) のため
- その他 (下記に詳細をご記入ください。)

令和6年度 山形県神室少年自然の家 年間事業予定表

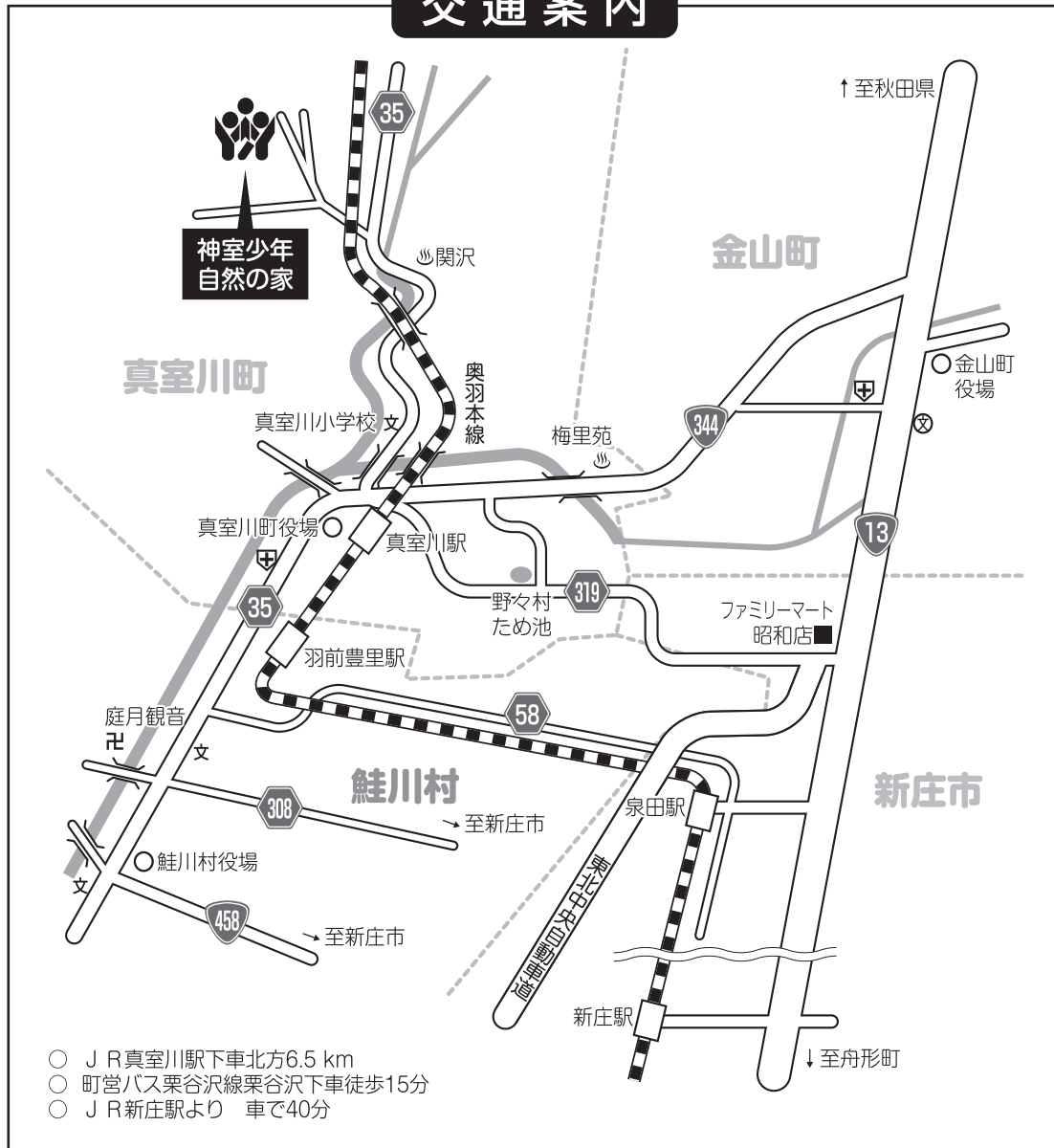
月/日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4月	◆																														
5月	◆																														
6月	◆																														
7月	◆																														
8月	◆																														
9月	◆																														
10月	◆																														
11月	◆																														
12月	◆																														
1月	◆																														
2月	◆																														
3月	◆																														

令和6年(2024年)

令和7年(2025年)

◆: 休所日等のため利用できない日 ◇: 事業や環境整備のため利用の際は事前相談を要する日

交通案内



山形県神室少年自然の家

〒999-5301 山形県最上郡真室川町大字川ノ内字水上山3414-5

TEL(0233)62-2611 FAX(0233)62-2613

メール info@kamuro-nature.jp

(指定管理者 株式会社 ひかり)



神室少年自然の家 HP



@KAMURO_NATURE_YEAM
神室少年自然の家 インスタグラム